

背景

地域の個性を発揮し、特性を生かしたまちづくりを進める佐伯市

平成17年3月に1市5町3村が合併して誕生した九州一広い佐伯市。

「さいき創生」推進にあたり、地域ごとの伝統文化を大事にしている。

上浦地区のパワースポット

九州屈指の「日の出スポット」として有名になった「豊後二見ヶ浦」は、高さ17mの男岩と10mの女岩が、長さ65m、最大直径75cm、重さ2tの日本最大級の大しめ縄で結ばれている。

50年を超える大しめ縄の張替え

風雨や日差しにさらされるしめ縄は1年で激しく劣化し、役割を終える。

新年を迎えるため、市内外約400人の有志が協力し毎年12月に張り替える。

→過疎化・少子高齢化が進む中、多くの人に支えられている大切な伝統文化

現状の
課題

張替えの際に岩の近くまで行くために使用する橋は...

→大しめ縄張替え時のみ、床板部分を設置するだけの仮設の橋

地元建設業者に設置をお願いしていたが、人手不足でできなくなり、有志に橋の設置・解体の重労働を強いてしまっている。

事業の
目的

過疎化・少子高齢化が進む地域の伝統文化を守りたい

- ・大しめ縄張替えに協力してくれる有志の負担を減らしたい

- ・豊後二見ヶ浦を間近に見られるようになる

→副次的に、観光地としての価値を高め、市全体への誘客を図りたい

地方創生を支援したい
企業に応援してほしい！

九州最東端
九州で一番に
日の出が
見られる市



事業
内容

ユニバーサルデザインの遊歩道を設置したい

(事業主体の実行委員会に遊歩道設置を行うための補助金を交付)

- ・ 大しめ縄張替え時の有志の負担軽減、作業の安全性確保
- ・ 誰でも大しめ縄の迫力と夫婦岩のスケールを間近で体感

得られる
成果等

「佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられた

- ・ 街・浦・里のまちづくり支援件数の増加
- ・ 観光施設等入り込み客数増への寄与

寄附を
する
メリット
等

企業様にご支援をお願いしたいこと

- ・ 遊歩道設置に伴う資金面でのご協力
- ・ 地域の伝統文化の保存継承や、地域資源・文化を観光資源とするノウハウ提供



大しめ縄作成の様子



昭和45年頃の様子



現在の張替えの様子



女岩

男岩

大しめ縄

女岩まで
遊歩道を設置

遊歩道設置イメージ

企業様へのメリット

- ・ 市ホームページに掲載、公式SNSで発信
- ・ 現地で企業名の入った銘板設置
- ・ 短冊に願いを書き込み、大しめ縄に編み込む「願い事札」祈願
- ・ 感謝状贈呈、市長との記者会見（一定額以上）

ご支援をお待ちしております

大分県佐伯市
総合政策部 政策企画課
0972-22-4104
sseisaku@city.saiki.lg.jp



ホームページはこちら